

2019.7.25 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学
人間文化研究機構 国文学研究資料館

複数の原料から復元に成功！

古代の甘味料「あまつら」の試食体験イベントのご案内

日時：2019年8月3日(土) 12:30~13:45

会場：立命館大学衣笠キャンパス

立命館グローバル・イノベーション研究機構(以下、R-GIRO)所属の神松幸弘助教と大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館(以下、国文研)所属の入口敦志教授らは、2016年より「料理・調味料の復元と活用に関する研究」の共同研究を行っています。その研究報告と研究成果のひとつである古代の甘味料「あまつら」の復元を記念した試食体験イベントを8月3日(土)に立命館大学衣笠キャンパスで開催いたします。

古代の日本では、「あまつら」という甘味料が存在し、枕草子や今昔物語などにも記されています。しかし、砂糖の普及とともに中世中頃には消滅し、現在では幻の甘味料となっています。

この度、R-GIROと国文研は古文書の精査と20種もの植物の樹液成分の化学分析による再検討を進めてきました。その結果、従来のツタを原料としたものだけでなく、さまざまな原料からあまつらを復元できることを明らかにしました。

本イベントでは、最新の研究報告に加えて、枕草子の中で、清少納言が「あてなるもの 削り氷に甘葛(あまつら)入れて、新しき鏡入れたる」と書き記したあまつらのかき氷の試食体験を用意しており、参加者に五感を通じて古典の世界を味わってもらおう企画となっています。



あまつらの原料候補として分析した植物種群の一部



復元した古代の甘味料「あまつら」

記

日時：2019年8月3日(土) 12:30~13:45

会場：立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

対象：どなたでもご入場いただけます(定員:先着80名)

スケジュール：

12:30-12:35 趣旨説明

12:35-13:00 「古典籍と科学の出会い」入口敦志(人間文化研究機構国文学研究資料館)

13:00-13:20 「あまつらの再検討—文献と化学分析からわかったこと—」神松幸弘(立命館大学)

13:20-13:45 令和とあまつら 30年前のあまつら復元の映像+質疑応答

※本イベントは、立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)シンポジウム「超長期的視点から見た人口・環境・社会」内で実施いたします。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

ご取材いただける場合は、前日までに以下までご連絡をお願いいたします。

立命館大学広報課 担当:中村 TEL. 075-813-8300

別紙：関連シンポジウムのご案内

立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)シンポジウム
「超長期的視点から見た人口・環境・社会」

日 程：2019年8月2日(金)、3日(土)

会 場：立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

スケジュール：

2019年8月2日(金)

- 13:00-13:05 開会
- 13:05-13:20 **【縄文遺跡から人口動態を探る】趣旨説明**
矢野健一(立命館大学)
- 13:20-13:55 「洞穴遺跡の実態」
遠部慎(久万高原町教育委員会)
- 13:55-14:30 「九州における喜界アカホヤ噴火前後の縄文遺跡の動態」
栗畑光博(都城市教育委員会)
- 15:00-15:35 「瀬戸内海の海水準変動に伴う人口変動」
山本悦世(岡山大学)
- 15:35-16:50 質疑応答
- 16:50-17:00 閉会・事務連絡

2019年8月3日(土)

- 10:30-10:35 開会
- 10:35-10:45 **【過去の環境変化を解明する】趣旨説明**
高橋学(立命館大学)
- 10:45-11:15 「湖底堆積物の研究からわかる災害の繰り返し」
福本侑(立命館大学)
- 11:15-11:45 「同位体分析で探るインカ帝国内の食の多様性」
瀧上舞(国立歴史民俗博物館)
- 11:45-12:15 「環境史学の視点にみるちょうどよい人口動態とは？」
山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

- 13:45-13:55 **【超長期的な社会変化を見通す】趣旨説明**
小川さやか(立命館大学)
- 13:55-14:25 「アラル海災害への適応と地域社会のレジリエンス:災害後の生業の選択という側面から」 田徹朗(名古屋外国語大学)
- 14:25-14:55 「長期的な周期で起きる災害と社会の関わり」
木村周平(筑波大学)
- 14:55-15:25 「環境変化からみた環太平洋圏におけるヒトの移住史」
小野林太郎(国立民族学博物館)
- 15:25-16:00 質疑応答、閉会

主 催：立命館大学環太平洋文明研究センター

共 催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館
立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)